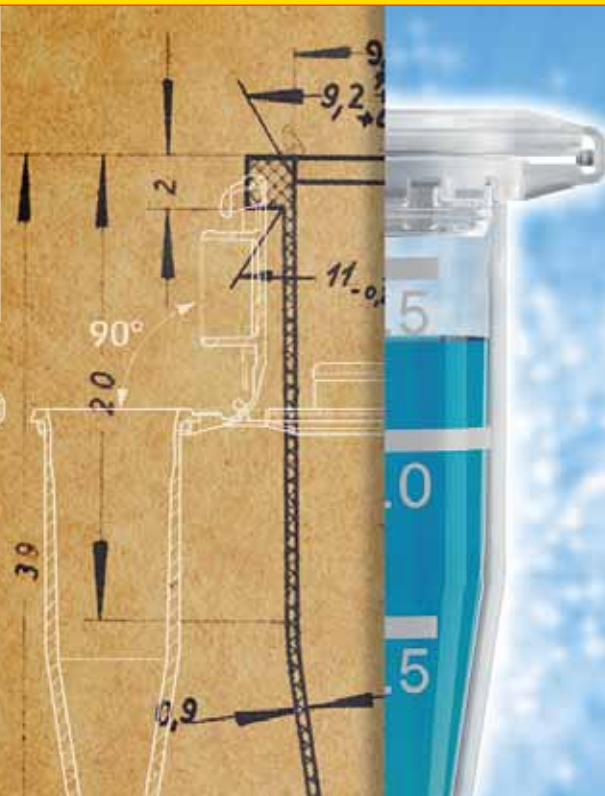


本紙を JASIS2023 弊社ブース (4A-501) へご持参
 いただいた方に弊社オリジナルグッズを差し上げます *

引換印

* ブースにて簡単なアンケートにお答えいただきます



Tube 60 Years Anniversary

マイクロチューブ 60 周年記念キャンペーン ~ 11月30日

エッペンチューブとして親しまれ、ラボでは欠かせないものとなった**マイクロチューブが誕生して、2023年で 60 周年を迎えました。**

さらに分注作業を効率的に行うための自動分注機 epMotion シリーズ発売 20 周年でもあります。

これを記念いたしまして、チューブをはじめとする各種製品を特別価格でご提供いたします！
 さらに、**このカタログを見た方限定プレゼントイベント**もごございますので、お見逃しなく！！

キャンペーン内容

- 5.0/15/25/50 mL チューブ **30% OFF**
- twin.tec PCR プレート **30% OFF**
- チューブラック **40% OFF**
- 自動分注機 epMotion 96/5070 **25% OFF+プレゼント**



JASISにてプレゼント企画実施中！詳しくは裏面をご覧ください

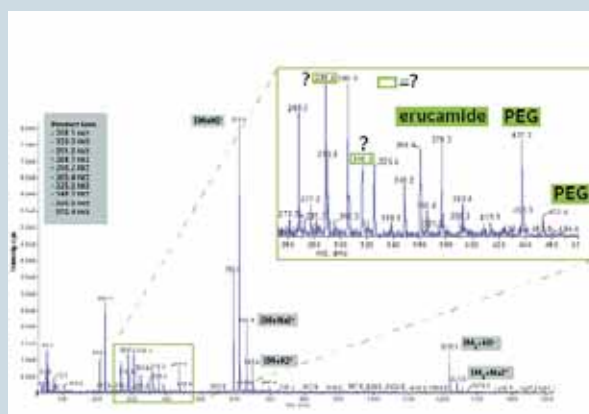
プラスチックからの「溶出物」による影響をご存知ですか？

プラスチック製品の製造プロセスにおいて用いられる各種添加物（可塑剤、殺生物剤、スリップ剤）が「溶出物」として容器内の試薬やサンプルに混入すると、生物学的アッセイを阻害することが報告されています。Eppendorfのプラスチック製品はこれらの添加物を使用しておらず、安心してご使用いただけます。

質量分析における溶出物の影響

標準物質として1 ppmのエルゴクリスチンを添加したメタノールを各社チューブに入れ、1分間ボルテックスした後、質量分析に供しました。他社製のチューブからは、可塑剤（PEG）、スリップ剤（エルカ酸アミド）、その他未知物質が検出されました。一方、エッペンドルフ製のチューブからはこれらの物質のピークは検出されませんでした。

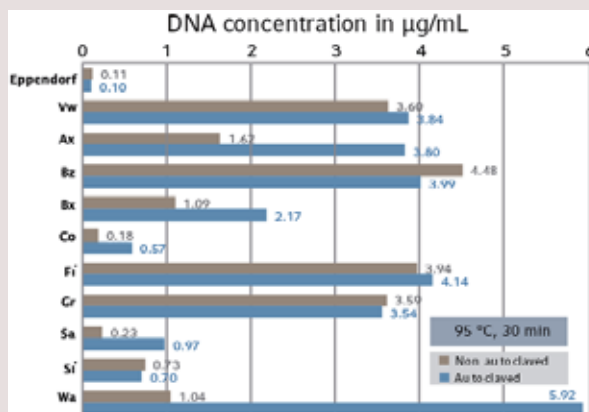
Source: Application Note No.282



溶出物のDNA濃度測定への影響 (1)

マイクロチューブに超純水をいれて95°Cで30分インキュベートした後、UVを吸収する溶出物による偽DNA濃度を測定しました。他社製のチューブからは、高濃度な溶出物が検出されました。オートクレーブをかけた後のチューブでは、溶出物の濃度がさらに上昇しました。

Source: Application Note No.396



溶出物のDNA濃度測定への影響 (2)

各社チューブに水を入れ、90°Cで30分間インキュベートした後、紫外領域の吸光度を測定しました。他社製のチューブでは、紫外領域の光を吸収する物質によるコンタミネーションが認められました。このコンタミネーションによる260 nmにおける吸光度の値は、最大5.01 µg/mLのDNAに相当しました。

Source: Application Note No.264

